

2024 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	熊倉 正修
演習テーマ	「働くこと」の国際比較
内容 と 卒業論文の 指導方針	卒業論文を執筆する。 卒業論文のテーマは限定しないが、客観的な分析を重視し、統計学を活用した論文の執筆を推奨する。そのため、演習 3A から行っている統計分析の実習も継続して実施する。
メール・アドレス	kumakura@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	メールによる予約制
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> • 早期にテーマを定め、時間をかけて卒業論文を執筆する。 • 演習 3A では演習 2B から行っている統計分析の実習を継続して行う。 • 履修者間の添削やフィードバックを推奨する。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> • 10 年後に読み返して赤面することのない卒業論文を執筆する。 • 直感ではなく客観的な分析にもとづいて社会を観察できるようになる。 • 自分で時間を管理し、締め切りまでに十分な成果を得る。ひとたび社会に出ると、これがもっとも重要な能力となる。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業論文のテーマの設定 • 統計分析の演習 • 過去の卒業論文の輪読・分析 • 文献調査（+必要に応じて実地調査や統計分析） • 中間報告 • 初稿の提出とフィードバック • 改稿 • 完成論文の提出とプレゼンテーション
予習	自分の意志でどんどん進めてゆくこと。
復習	同上
授業に関する注意事項	同上
教科書	なし
参考書	個別に指示する。
成績評価の 基準	<ul style="list-style-type: none"> • 統計分析等の課題（20%） • 自分の卒業論文に対する取り組み（50%） • 他の履修者の卒業論文への貢献（30%） （注）完成した卒論の評価は 4004「卒業論文」で行う。
関連 URL	
備考	演習 3A からの履修を希望する者は、必ず事前に研究室を訪ねて相談すること（これを怠った人は理由によらず受け入れない）。私の演習では二年次と三年次に会計学や統計学、労働法等の初歩を一通り学び、演習 3B において 10,000 字の小論文の執筆も義務づけている。演習 3A からの履修を希望する人には、春休み中に十分な準備を行うことを求める。